

ビバップのメッカ

ウィリッチのレストランで たっぷりスペイン料理をこち そうになったお返しにつもり で次へ会った時、僕は「ベイ

「サイトウ」に連れて行き、 彼の大好きな日本料理で心ば かりのおもてなしをした。 「さげんになった彼、今か



らジャズメンのたまり場に案 内しようという。そこは「サ イトウ」のすぐ斜め向かいの 「ピッコリーハウス」だった が、ステキーで有名なそのお 店は、「ボードランド」にも 近く、また一流ピアノストに よるハウストリオを呼び物に していたから、いつもジャズ

二番街は「ビバップ」のメツ カだったんだ。

うれしいことに、その夜の 出演は女流ピアノストの大先 輩メリー・ルー・ウイリアム

来日夢みて急死の大物 まじめなウエスに驚き

入るとすぐベイリーにさか んに手を振っていた一人の黒 人が、やがつかつかと僕ら の席にやって来た。なんとそ の男が、ジャズキターの第一 人者、ウエス・モンゴメリー

だったんだねえ。こちらの人 気なタリスト渡辺香津美も少 年時代、革新的な奏法のウエ スを聴いてジャズを志したと いわれるほどの強い影響力を もったこの男、五〇年代に 「リバーサイド」レコードか

ら次々に出した傑作で、その 時に確固たる地位を築いてい た。頑固なウイントン・ケリーを迎

なウエスの言葉に、僕は驚き 感心してしまった。 それから半年もたない同 じ年の暮れ、ウエスは「ヴァ ープ」レコードのらつ腕プロ デューサー、クリード・テイ

楽しいクラブ巡り さてお話かわって、ボスト ンから帰ってほんの間もない 早朝六時、ベッドでまどろん でいた僕は、突然の電話でた たき起こされた。貞夫夫人と その友人二人の二行機が、 夜を徹してのバス旅行でボス トンからこの到着というすてき なお知らせだ。うれしかった なあ。



多くのヒットを飛ばしながら来日しなかつ た大物ギタリスト、ウエス・モンゴメリー

もっと勉強をして

インディアナ州出身のウエ スの話は、なまりが強くて さっぱり分らなかつたが、 いかにもウエスとは親しげな

ベリーの説明によると「お 人の願いは後に実現されたけ だ」と言っていたのに反し

「ア・テイ・イン・ザ・ライ フ」ほか二枚の決定的な大ヒ ットをどぼして、一躍人気ボ ップアーティストになってし

旅行者の僕が案内するなん ておかしな話だけれど、ニュ ーヨーク在住の長い種類のベ ーラン商社マンの方を、ビル ・エパンス・トリオ出演中の 「カフエ・オウ・ゴーゴー」 にお連れしたら、ウィリッチ に来てジャズを聴くなんて初 めでたと言われたから、室外 そんなものかもしれないね

(内田 修)